

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報													☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																																											
事務事業名			図書・資料経費			補助区分			<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単			終期			<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで)			<input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない			予算科目			区分			一般会計			款			10			項			5			目			12			事業			3					
担当部			教育委員会			担当課			図書館			担当係			奉仕			係			作成者			門井 中			内線(電話番号)			23-5556			シート作成日			H30.10.16			部長決裁日			H30.10.16														
位置付けられている計画等			<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」			<input type="checkbox"/> 市民等からの要望			<input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)			根拠法令及び市条例等			<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : 図書館法)			<input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :)			<input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称 : 常総市図書館設置条例・規則)																																

2 事務事業の目的													☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																									
現状課題			図書館の役割として第1番目に、市民にとって魅力的な資料収集、要望に応じた資料提供、求める資料提供があげられるが、平成27年9月の豪雨災害により多数の資料を失った。寄贈等で蔵書数を増やしてはいるが、まだ当時の蔵書数には及ばない。また、予算の縮減により、図書の購入も規制せざるを得なく、利用者のリクエストにも応じきれないのが現状である。										誰・何を対象に			市民及び市内在勤・在学・近隣市町村在住者										望ましい状態			市民のニーズに応え、バランスのとれた資料収集と、広い分野にわたった最新の情報を提供すること。									
													どのような方法・手順で			①資料・情報の計画的な収集と市民への提供 ②生涯学習・余暇のための学習・閲覧室の提供 ③図書館利用普及のための各種事業、広報活動の推進 ④インターネットによる蔵書検索サービス・利用者端末機の開放など																						

3 事務事業の主たる成果指標													☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																							
指標名			貸出総数			単位			点			目標値			161,810			目標年次			平成 32 年度			指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)			平成29年度の貸出総数は、139,778点であるので、各年度5%増を目標値とした。									

4 事務事業の実績 ①													☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																																																																
年度													平成27年度													平成28年度													平成29年度																																						
													業務名													業務名													業務名																																						
① 図書購入(4,194冊)													8,091,390円													① 図書購入(4,168冊)													7,212,598円													① 図書購入(4,317冊)													7,768,057円												
② CD購入(238点)													707,502円													② CD購入(283点)													787,386円													② CD購入(198点)													554,864円												
③ 雑誌・新聞・追録・その他購入													3,394,131円													③ 雑誌・新聞・追録・その他購入													3,050,000円													③ 雑誌・新聞・追録・その他購入													3,099,928円												
④																										④ TRCマーク代													349,570円													④ TRCマーク代													368,836円												
⑤																										⑤																										⑤																									
⑥																										⑥																										⑥																									
⑦																										⑦																										⑦																									
⑧																										⑧																										⑧																									
⑨																										⑨																										⑨																									
⑩																										⑩																										⑩																									
⑪																										⑪																										⑪																									
⑫																										⑫																										⑫																									
目標値に対する実績値													85,153 点													目標値に対する実績値													89,577 点													目標値に対する実績値													139,778 点												
決算額			計			12,193,023 円			内訳			特定財源			0 円			計			11,399,554 円			内訳			特定財源			0 円			計			11,791,685 円			内訳			特定財源			0 円																																
						一般財源			12,193,023 円						一般財源			11,399,554 円						一般財源			11,791,685 円						一般財源			11,791,685 円																																									
						(住民一人あたりの行政コスト)			197 円						(住民一人あたりの行政コスト)			187 円						(住民一人あたりの行政コスト)			195 円																																																		

5 担当者評価 ②													☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。												
成果			目標未達成										成果内容			水害のあった平成27年度以降、図書購入費が縮小され、多岐の分野にわたった資料収集ができていない。そのため、市民の求める資料を確実に提供することができない場合がある。利用者のリクエストにも応えられない場合がある。									
問題点																水害により、なくなった分野の買戻しと、図書館として所蔵しておくべき資料を購入することができない。また、利用者のリクエストに応えることができない場合や、人気本の複本を購入することが難しい状況でありタイムリーな提供ができない。									

6 担当部長及び担当課長評価 ③													☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。												
事務事業の方向性													<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止												
評価理由													図書館の資料経費は、図書館の教養文化・調査研究・レクリエーション等に資し、地域の諸課題への支援などを目的とした情報提供に努めるためには必要不可欠であるが、ここ数年減額されているのが現状である。水害により約3万点の蔵書等が失われた中で、利用者へ提供すべきバランスのとれた資料を収集するためには、予算の拡充は必要と考える。												

7 実施計画 ④													☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																																						
年度													平成30年度													平成31年度													平成32年度												
事業内容													図書購入(7,000,000円) CD購入(1,000,000円) 雑誌・新聞・追録・その他購入(2,880,000円) TRCマーク代(432,000円)													図書購入(10,000,000円) CD購入(1,000,000円) 雑誌・新聞・追録・その他購入(2,257,000円) 新聞購読料を3紙廃止し、追録加除をデータベースで購入することによって削減を図る TRCマーク代(582,000円)													図書購入(10,000,000円) CD購入(1,000,000円) 雑誌・新聞・追録・その他購入(2,700,000円) TRCマーク代(587,000円)												
													※参考 【平成30年度の資料経費】 奉仕人口一人当たり、県内37自治体の内31位																																						
予算額			歳出			計			11,312 千円			歳出			計			13,839 千円			歳入			計			14,287 千円																								
						特定財源			0 千円						特定財源			0 千円						特定財源			0 千円																								
						一般財源			11,312 千円						一般財源			13,839 千円						一般財源			14,287 千円																								
						計			11,312 千円						計			13,839 千円						計			14,287 千円																								

8 財務アドバイザーの見解												
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。												

9 行政改革懇談会(市民)の意見												
事務事業の方向性は「現行どおり」でよいと考えられるため、担当部長及び担当課長評価を再考していただきたい。図書館としての在り方について、一般の書店で販売されている書籍と同様の品揃えにする必要はないと考える。市の歴史や郷土・文化に触れられるような図書資料を充実させるなど地域に特化した市の図書館というコンセプトは良いが、財政状況が厳しい中、新刊本を購入するために予算をかける必要はない。また、利用者の年齢層を絞って図書を充実させ、「常総市の図書館に行けばの本は必ずある」というような方策も必要ではないか。いずれにしても、厳しい財政状況を鑑みれば、常総市の図書館としての個性を明確にしたうえで、購入する図書資料を選択したイベントを企画するなど、図書館職員の方の情熱や創意工夫に期待したい。												

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤																									
事務事業の方向性													<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止												
評価理由													蔵書数だけでなく、常総市の図書館の特色と、市民が知る喜びや学ぶ楽しさを実感できる図書館づくりを考え、利用者を増やす工夫をすべきである。												

11 事務事業の改善理由 ⑥													☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。												
事業内容													当図書館資料は、水害で約3万点の資料が廃棄処分となり、一般書と児童書等の構成がかなりアンバランスな状態である。特に、一般書の『自然科学』、『産業』、『芸術』、『文学』及び児童書の『歴史』、『技術』、『芸術』については、大幅に減少している。利用者のニーズに沿えるような本をそろえるために、図書購入費の増額を要望する。予算については、平成31年度より新聞購読料の見直しと追録加除をデータベースで購入することによって削減を図り、補うこととする。												